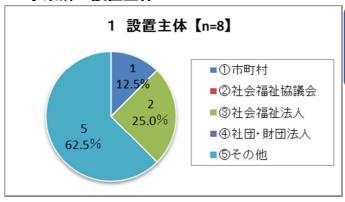
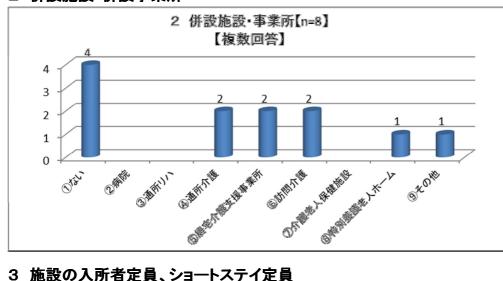
(11)小規模多機能居住介護事業所 (8 力所)

1 事業所の設置主体



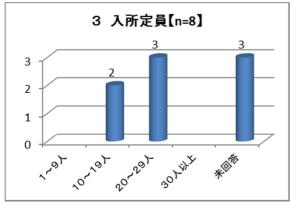
設置主体について「③社会福祉法人」が2 件(25.0%)と最も多かった。「⑤その他」 として、「有限会社」が4件(50.0%)であった。

2 併設施設・併設事業所



「①ない」が4件 (50.0%)、「④通 所介護」「⑤居宅 介護支援事業所」 「⑥訪問介護」が それぞれ2件 (25.0%)であっ

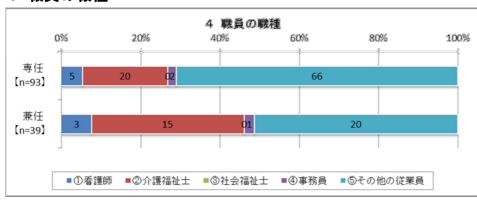
3 施設の入所者定員、ショートステイ定員



3 ショートスティ定員【n=8】 4 2 1 T grant hald be lot of the walk 施設の入所定員は、「20~29人」が3件 (37.5%)、「 $10\sim19$ 人」が2 件(25.0%)で

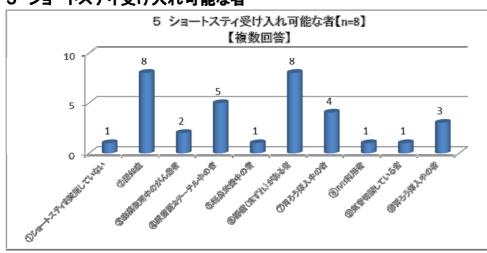
ショートステイ定員は、「5~9人」が4件 (50.0%)、「15~19人」が2件(25.0%)で あった。

4 職員の職種



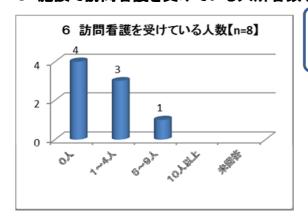
専任では「②介護福祉士」が20人(21.5%)、兼任では「②介護福祉士」15人(38.5%)が多かった。

5 ショートステイ受け入れ可能な者



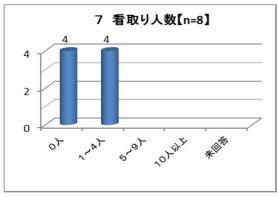
「②認知症」「⑥褥 瘡がある者」が8件 (100%)と多かった。

6 施設で訪問看護を受けている入所者数(H24.4.1~H25.3.31)



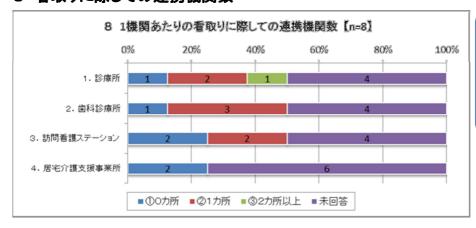
訪問看護を受けている入所者は、「O人」が4件(50.0%)であった。

7 施設での看取り(H24.4.1~H25.3.31)



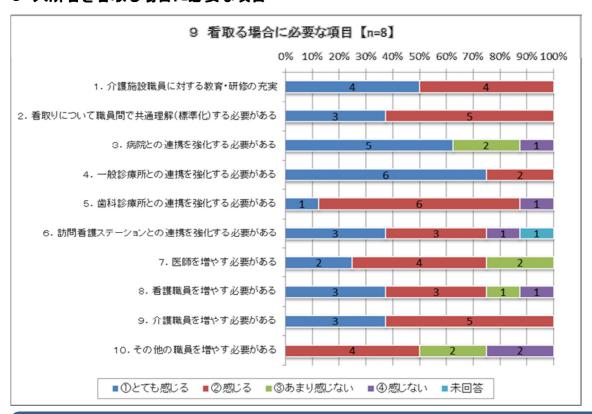
施設で看取りを実施しているのは4件(50.0%)であった。

8 看取りに際しての連携機関数



入所者の看取りに際しての連携機関数としては、「1.診療所」「2. 歯科診療所」が3件(37.5%)と多かった。

9 入所者を看取る場合に必要な項目



「4.一般診療所との連携を強化する必要がある」について、「①とても感じる」が6件(75.0%)と多かった。

10 在宅医療についてのご意見

「死」に対する考え方が変化したこと、科学万能を信じる人が増えたため、医療にたよる人が増えている。全ての人にあたりまえに来る死を受け入れてもらえる啓蒙が必要である。行政にはそのPRを希望する。

医療度の必要性が強い方は、訪問での医療看護の充実が必要であると思いますが、看取りは、基本的にその人らしく終る支援である為に特別視しないで荒てることなく穏やかにすごせて永眠できるようにと常々考えています。

当事業所では現段階で在宅で看取ったことはありません。今後必要性を感じています。そのためには、看護師の常勤や24時間体制の医者が近所になく、係りつけ医の病院や医院は対応してくれません。訪問看護ステーションが、事業所にきて利用者を看てくれるようになることを望みます。又、医師についても町内には看取りができる方がおらず、近隣市町村にありますが、普及利用していないのでお願いできない状況です。